

学生の海外でのフィールドワーク実施に関する安全手引き

本手引きでは、海外でフィールドワークを実施する際の一般的な留意事項を紹介しています。本手引きを活用すると同時に、研究対象に特化した特殊な留意事項等のほか、現地を訪れる際に必要な危険回避のための安全対策については、必ず所属部局、所属研究室および指導教員の指導を仰いだうえで、渡航してください。また、本手引きの末尾には「海外渡航に関する安全対策手引き」、並びに本学関係部局から提供されている、安全にフィールドワークを行う上で有益な情報を掲載していますので必ず参照してください。

京都大学の構成員が教育研究の一環として行うフィールドワークとは、対象となる事物や生物社会（ヒトを含む）が存在する現場に直接赴き、対象に適合した手法を用いて広義の学術的な調査研究の活動を行うことを指します。

具体的なフィールドワークの例としては、気象観測、海洋調査、生物・鉱物等の観察や資料・標本の採取、災害現場の実地検分、地域社会における諸活動への参与観察、聞き取り調査、写真・映像撮影、文献資料の収集などが挙げられます。



渡航前

1. 研究計画書の作成



所属先で定められているフィールドワークの実施にかかる一連の手続を把握し、時間の余裕をもって指導教員と詳細な研究計画書を作成しましょう。作成の際には、現地の治安情勢を含む周囲環境を十分考慮して無理のない研究計画書を作成しましょう。また、研究計画書は、家族、友人、関係者等にも共有してください。

2. 海外旅行保険（治療・救援費用補償無制限）への加入



（参考：海外渡航に関する安全対策手引き 4）

海外でフィールドワークを遂行することは、単なる海外渡航とは異なり、異なる種類の危険性を含んでいます。安心して調査研究を行うためにも、必ず治療・救援費用補償が無制限の海外旅行保険に加入してください。ただし、フィールドワークの内容（例えば、ピッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山等）によっては、保険対象外となる可能性があるため、保険の対象範囲を確認し、当該フィールドワークにおける危険性をカバーする保険に加入してください。

3. 緊急時の備え（緊急連絡先リスト・緊急カードの携行）



（参考：海外渡航に関する安全対策手引き 3、10）

- 渡航前には、不測の事態に備え、国内外の緊急連絡先リストを作成し、指導教員、所属先、家族、友人、関係者等と共有しましょう。（本手引き最終頁に緊急連絡先等を貼付し、渡航中携行してください。）
- 不測の事態には、自分自身の安全を最優先に判断・行動しましょう。安全を確保した上で、現地警察・大使館・総領事館、指導教員・家族等に連絡の上、援護・救援を要請してください。
- 現地の法律や規制を事前に確認し、禁止行為への抵触を疑われる行動は避けるようにしましょう。万が一、逮捕・拘束された場合には、大使館もしくは総領事館に連絡をしてください。ただし、大使館や総領事館は、適正な法手続が取られている限りは、関係当局に対して、釈放や減刑等の特別な扱いを要求することはできません。



4. 健康管理（予防処置・予防接種、医療品携行含）

（参考：海外渡航に関する安全対策手引き 5、9）



- フィールドワーク実施対象地域・国に特有な感染症や風土病を事前に把握し、適切な**予防接種**を受けることで、感染症にかかるリスクを軽減することができます。予防接種の種類によっては、間隔をあけて数回接種する必要があるため、時間に余裕をもって計画的に準備を進めましょう。
- 現地で必要となりそうな**医療品・衛生用品**を確認の上、十分に準備して携行しましょう。ただし、医薬品については、国によって持ち込みが禁止される成分や分量が定められている場合もあるため、事前に確認するようにしましょう。現地特有の感染症等の予防薬を現地に調達することを検討している場合、都市部以外では入手困難なものもあります。到着後速やかに確保するようにしましょう。
- 国際的に懸念される感染症が流行している場合は、「海外渡航に関する安全対策手引き」9を確認してください。

5. 調査・滞在許可（現地の法律等に従った手続）



国によっては、**調査許可**や**滞在許可**等、現地の法律や調査関連機関の規程に従い手続が必要となることがあります。渡航前に手続の必要性を調べ、時間に余裕をもって準備を行いましょう。

6. 調査装備・補助器具の用意と現地の文化・風習に沿った服装



- **装備**や**補助器具**は、フィールドワークの目的、内容、実施地域・気候条件を含む環境等によって異なるため、予備を含め万全の準備を心がけましょう。なお、海外であっても現地での**装備**や**補助器具**の使用については、現地の規制に従いつつも、安全確保のために日本の規制の基準がより厳しい場合には、日本法にも準拠するようにしてください。
- **文化・風習**の違いによっては、女性、男性ともに肌の露出を避けるべき国も多くあります。現地の人々の服装を観察し、それに準じた服装を心がけるなど、現地の文化・風習を尊重しましょう。調査現場、公的施設訪問等はもちろん、宿泊先、現地での交流等といった場合においても状況に応じた服装を心がけましょう。

渡 航 中

7. 関係者への連絡と連絡手段の確保



- 現地到着後、**速やかに指導教員、家族や関係者に連絡**をしましょう。また、フィールドワーク中も、定期的かつ積極的に連絡を取るようにしましょう。
- 国によっては、日本で使用している携帯電話の使用が可能とありますが、携帯電話だけに頼ることは危険です。トランシーバーや衛星電話等の確保を含め、連絡手段については情報を入手し、**いつでも連絡が取れる状態**にしましょう。

8. 緊急時の連絡

（参考：海外渡航に関する安全対策手引き 10）



渡航中に事件や事故等の緊急事態に遭遇した場合は、自らの安全を確保した上で、渡航前に用意した緊急連絡先リストを参照し、必要に応じて現地警察、大使館・領事館、保険会社、アイラック（※）、家族等に速やかに**援護・救援**を要請してください。また、自分が所属する研究科・学部や指導教員にも必ず連絡報告してください。

※24時間緊急サポートデスクへの登録がある場合



9. 研究計画の変更

習慣・環境の違いから、緊張感やストレス、肉体的疲労が蓄積されやすいので、体調の異変を感じたら、決して無理をせず、必要な場合には**研究計画の変更**を検討しましょう。集中力の低下は事件・事故を招きます。十分な睡眠時間の確保と休養を心掛けてください。また、現地の事情（例えば、交通事情、天候、治安情勢等）によって必要な場合は、研究計画の変更を検討しましょう。**研究計画の変更が生じた場合は、指導教員をはじめ、家族、友人、関係者等に速やかに報告してください。**

10. 治安状況の把握と安全対策

(参考：海外渡航に関する安全対策手引き 2)



現地の動向・情勢および治安状況については、外務省の海外安全ホームページや国内外の信頼性の高い情報を入手して、対策を十分に取ってください。

11. 交通機関（自動車運転、公共交通機関）



- **公共交通機関**を利用する場合、夜間の移動は基本的に回避し、やむを得ず外出・移動する際は、信頼のおける交通手段を利用しましょう。車両の運転をする必要が生じた際には、現地の交通法規と標識等を十分に確認した上で、慣れない土地での運転であること、日本とは異なる道路状況であること等を念頭に置き、慎重な運転を心がけましょう。
- 空港、駅など多くの人が集まる場所では事件、事故の発生率が高いことを念頭に置き、必要がなければ極力立ち寄りないうこととし、立ち寄る際には周囲に十分な注意を払いましょう。

12. 研究材料の取扱い（古文書・考古学的遺物・動植物・鉱物・土壌等）



対象とする**研究材料の取扱いや持ち出し**については、現地及び日本国内の法令や規則に基づく制限、または禁止の有無を確認し、法を遵守した行動を徹底してください。不明な点については、自己判断せず、指導教員に確認してください。

13. 写真撮影



国によっては、政府系施設、軍事施設、宗教施設等について、さらに軍事的理由から駅、橋、港湾等についても**写真・ビデオ撮影・周辺でのドローンの使用などが禁止**されている場合があります。不用意に撮影を行うことでカメラ等が没収されるほか、逮捕・拘束されるおそれがあります。また、習慣・文化の違いから人物、施設や物の撮影についてもトラブルを引き起こす場合があります。撮影の前には必ず撮影対象となる人物については本人、施設及び物については所有者または管理者等に確認してください。

14. コミュニケーション



文化・風習の違いによって、慎むべき言動があります。事前に十分な情報収集を行い、対象国の**文化・風習を理解し、現地の住民との交流や信頼関係の構築**を心掛けましょう。そのためにも、現地の公用語や共通語について知識を備え、可能であれば**地域言語**についても習得することが望まれます。

渡航後

15. 帰国後の健康管理



- 現地で感染症等の症状がみられない場合でも、帰国後に発症することもあるので、帰国後も体調の変化を十分観察し、**体調不良の場合には早期に専門医療機関を受診**してください。
- 自分自身が感染症に罹らないように留意すると同時に、感染症を伝染させるキャリアにならないよう自覚と責任をもちましょう。

16. 終了報告



日本に帰国したら、指導教員、家族に**帰国の報告**をすると同時に、お世話になった関係者にも報告と御礼の連絡をしましょう。

【海外渡航に関する安全対策手引き】

- 海外に渡航する際の安全対策に対する情報を紹介しています。渡航前、渡航中の安全対策に活用してください。

日本語・英語：<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/public/issue/anzen-guide>



海外渡航に関する
安全対策手引き

【学内で公開されているフィールドワークに関する留意事項】

- 環境安全保健機構「安全衛生の手引き」（第1版）「11. 野外活動（86-87頁）」（日本語）
遠隔地へ出かけ野外での調査を行う際の一般的な注意事項と留意点が掲載されています。

<https://u.kyoto-u.jp/0avol>



環境安全保健機構
安全衛生手引き

- 理学研究科「安全の手引」（日本語）（第13章）

国内・国外のフィールドワークに関する注意事項と留意事項が記載されています。

<https://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/inuniv/safety/file/safety.pdf>



理学研究科
安全の手引

- 農学研究科・農学部「安全の手引」（日本語・英語）（第12章）

フィールドワークに関する一般的な注意事項のほか、山・海岸（岩場）（船舶利用、潜水作業による調査研究含）、および国外のフィールドワークにかかる一般的な留意事項が記載されています。

<https://www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/procedures/info/safety-guide/>



農学研究科・農学部
安全の手引

- フィールド科学教育研究センター「安全の手引」（日本語）（第11章）

フィールドワークに関する一般的な注意事項のほか、山・海岸・河川（船舶利用、潜水作業による調査研究含）、および国外のフィールドワークにかかる一般的な留意事項が記載されています。

https://fserc.kyoto-u.ac.jp/main/safety/fserc_SafetyGuide_201804.pdf



フィールド科学
教育研究センター
安全の手引

- アフリカ地域研究資料センター（「アフリカで安全にフィールドワークするために」
タンザニア、カメルーン、エチオピア、ウガンダ編）（日本語）

当該国の基本知識のほか、調査許可・入国手続・感染症と予防接種・安全に調査するための注意事項等、フィールドワークを安全に実施するための情報が掲載されています。

タンザニア <https://www.africa.kyoto-u.ac.jp/book/086.html>

カメルーン <https://www.africa.kyoto-u.ac.jp/book/092.html>

エチオピア <https://www.africa.kyoto-u.ac.jp/book/108.html>

ウガンダ <https://www.africa.kyoto-u.ac.jp/archives/publication/114>



タンザニア



カメルーン



エチオピア



ウガンダ

※ 希望者には冊子を配布するのでセンター宛に問い合わせてください。

京都大学アフリカ地域研究資料センター

住 所：〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46

電 話：075-753-7803 FAX：075-753-7810

E-Mail：caas [at] jambo.africa.kyoto-u.ac.jp（[at] は@に変更ください。）



緊急連絡先リスト & 緊急カード

必要事項を記入の上、パスポートケース、財布等に入れておきましょう。

「緊急連絡先リスト」は家族にもコピーを渡してください。



緊急連絡先リスト

連絡先	担当・氏名	電話番号	メールアドレス等
家族等			
京都大学 所属学部・研究科等			
海外旅行保険 ヘルプデスク			
アイラック等 24時間緊急サポートデスク (登録がある場合)			
渡航地の緊急連絡先			
渡航先大学・機関			
日本大使館・総領事館			
警察			
消防			
救急			
現地加入保険 ヘルプデスク			



緊急カード

Cardholder identification		Emergency Contact Card	
Name (ローマ字)		Embassy / Consulate Tel.	
Name (日本語)		address	
Date of Birth		Host university / institution	
Nationality		Tel.	
Passport Number		Local Contact (name & relation)	
Student ID Number		Tel.	
Medical information		Family (name & relation)	
Blood Type	A B O AB (Rh + -)	Tel.	+
Allergy		Kyoto University Department (name & relation)	
Medical Condition(s)		Tel.	+81-
Current Medication(s)		email	
KYOTO UNIVERSITY, JAPAN 		https://www.kyoto-u.ac.jp/en/ 	



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

Stay Safe!

【この頁には所属研究科・学部の緊急連絡先等を貼付してください】

貼付欄



本手引き掲載先

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/public/issue/overseas-fieldwork>



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

監修：海外フィールドワークに関する留意事項検討会
本手引きに関する問合せ先：国際戦略本部
Email: contact.iso-ku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp